

三鷹駅北口 街づくりニュース 第3号

(研究会(第1回)号)

関係団体による研究会を開催し “歩行者中心”の交通街づくり について意見交換を行っています

「三鷹駅北口街づくりビジョン」で描く目指すべき街の姿「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向けた取り組みを進めています。

今後の駅周辺の再整備に向けて、“歩行者中心”の交通街づくりについて関係団体による研究会を開催し、検討を進めています。今回は研究会(第1回)での意見交換の内容をご紹介します。

ここでは、これまでとこれからの取り組みを紹介します。これからの取り組みでは「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方(以下「基本的な考え方」)」に示す、交通環境の課題とその解決に向けた4つの考え方をたたき台として、検討を進めていきます。



検討プロセス



これまでの取り組み

- 三鷹駅北口街づくりビジョン**
概ね10年後の将来の目指すべき街の姿を描き、交通環境、土地利用、緑・にぎわいの3つの視点で実現に向けた取り組みを定めました。
- オープンハウス**
地域のイベントに合わせてブースを出展し、パネルによる「基本的な考え方」の情報発信や意見収集を行いました。
- ワークショップ**
市民の皆さまから参加者を募り、グループワーク形式で参加者同士が意見交換を行いました。

これからの取り組み

- ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野**
沿道店舗と協力し、歩道上に客席を設置することで、日常的に街なかでの食事や、ちょっとした休憩ができるような、滞留空間をつくり出す社会実験を行いました。令和4年度も実施しました。
- 関係団体による研究会** New
三鷹駅北口で事業を営む商店会、法人会や、駅を利用する子育て世帯や高齢者、障害者の関係団体、公共交通を担う交通事業者等が参加し、意見交換を行っています。この結果を市で報告書(仮称)として取りまとめます。

- ・福祉車両の見分け方は難しいため検討が必要
- ・自転車のマナーが良くないと感じている
- ・パークングの出入口については歩行者専用化の際に考慮する必要がある
- ・駅周辺に「上手く時を費やせる空間」を作れるとよい
- ・公共交通優先化するには、まず空間を時間帯で区切って対応を分けてみる等、段階的に整備する方法もある
- ・公共交通優先化する場合の福祉車両の扱いについては、新技術を活かせるとうい
- ・補助幹線道路の内側を歩行者のための空間にするのであれば、駐輪場や駐車場は補助幹線道路沿いの外縁部に置くなど、道路だけでなく土地利用もあわせて考えていかなければならない
- ・荷捌きの問題は道路だけで解決しない。道路空間はバスや公共交通の機能を確保できるように道路側と民地側との役割分担を一体的に考えることが重要

「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」 についてのアンケート結果

三鷹駅北口街づくりニュース(第2号)を発行した際に、「基本的な考え方」についてアンケートを実施しました。いただいたご意見の一部をご紹介します。

- 三鷹駅北口周辺の大切にしたいことや印象について**
 - ・次世代のためにも駅に降り立った時に安心感のある印象を大切にしたい
- 概ね10～20年後の三鷹駅北口のイメージや過ごし方について**
 - ・開放的で日当たりがよく、緑が生き生きとしている駅前広場、老若男女が集える空間
- 駅前広場や周辺道路の問題点について(現状の問題点)**
 - ・世界連邦平和像が隠れて印象に残らない
- 拡張を伴う2ロータリー化について(駅前広場の考え方)**
 - ・バスとタクシーの駐車スペースが狭いため、拡張が必要
 - ・武蔵境のようにビールフェスティバルが開催できるような広場もほしい
- 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくりについて**
 - ・低層を維持し、歩行者や近隣住民にとって魅力的な駅前空間としてほしい。高層ビルの建設に反対

オープンハウスとワークショップの報告書ができました

オープンハウス(5/28開催)とワークショップ(6/4・6/25開催)の報告書がまとまりました。市ホームページ・まちづくり推進課でご覧いただけます。

<https://bit.ly/3ruxKcd>

今後の予定

	開催時期	実施内容・検討テーマ
研究会(第2回)	9月29日	考え方2 駅前広場の2ロータリー化 考え方3 駅前広場の拡張
研究会(第3回)	10月	考え方4 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくり報告書(仮称・素案)の検討
アドバイザー委員会	12月	報告書(仮称・案)の確認
研究会(第4回)	令和5年1月	報告書(仮称)の取りまとめ

※各開催日は決まり次第、市ホームページや市報でお知らせします。

「基本的な考え方」や各取り組みの資料・記録は市のホームページでご覧いただけます

右記の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取っていただき、市ホームページでご覧いただけます。



<問い合わせ>
武蔵野市 都市整備部まちづくり推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28
武蔵野市役所東棟4階
電話 0422-60-1872 FAX 0422-51-9250

交通環境基本方針の策定
具体的検討
再整備へ
補助幹線道路の完成
歩行者中心の駅周辺

三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（第1回）を開催しました

令和4年8月、三鷹駅北口の関係団体や交通事業者の皆さまと「基本的な考え方」をたたき台として、意見交換を行いました。

意見交換は三鷹駅北口の「将来イメージについて」、「現状の問題点について」、「考え方1 駅周辺道路の交通体系の再編について」の3つのテーマで行いました。



会議次第▶

日時：令和4年8月5日（金）14～16時
場所：武蔵野芸能劇場

- (1) はじめに
- (2) 研究会の主旨説明
- (3) これまでの取り組みについて
- (4) オープンハウス・ワークショップの開催結果（概要）について
- (5) 将来イメージ・現状の問題点について
- (6) 考え方1 駅周辺道路の交通体系の再編について
- (7) その他連絡事項

▼会議資料（抜粋）



■ 将来イメージの考え方

将来イメージの考え方として、三鷹駅北口を「歩行者を中心とするにぎわいのエリア」としていくために、駅周辺の地域資源・特徴を活かしながら、「交通結節機能の確保」と「歩行・滞留環境の向上」の双方を目指していくことを確認しました。

■ 交通環境に係る問題点

現状の問題点について、交通環境の視点から「歩行者、公共交通、一般車等の動線の錯綜」や「歩行者が通行・滞留する空間の不足」「駐停車スペースの不足」等の状況を確認しました。その他、関連する土地利用や緑・にぎわいに係る問題点についても共有しました。



■ 駅周辺道路の交通体系の再編

駅周辺道路の交通体系の再編については、補助幹線道路の整備による駅前の自動車交通量の抑制と合わせて、道路ごとの役割分担を見直すことで、錯綜や混雑を解消するとともに、ウォーカブルな（居心地が良く歩きたくなる）空間を創出する考え方を確認しました。

■ 「将来イメージ・現状の問題点について」のご意見

意見交換では、より良い街づくりに期待する声として「今後の再整備にあたっては、現状の問題点を解消するだけでなく、三鷹駅北口のポテンシャルを最大限に発揮した次世代のための街づくりを目指すべき」といった趣旨のご意見がありました。

具体的には、「駅前に必要な交通結節機能を確保したうえで、駅周辺を単なる“乗り換え中心の空間”から歩行者を中心に据えたゆとりある“人が集い交流する駅まち空間”に変えていくべき」といった趣旨のご意見がありました。

将来イメージについて



・乗り換え中心だけでなく交流が生まれる、歩いてのんびり楽しめるような要素も必要ではないか
・交通問題を解決し、安心して歩けるような駅前広場にしていけることが大事



・三鷹駅北口は住宅とビジネスエリアが共存する珍しい立地。交通問題の解消だけでなく、駅前にある資源や特徴を活かして、次世代につながる街づくりを目指すべき



・単なる乗り換えの空間から、人との交流を創出できるようなウォーカブルな駅まち空間に変えていけると良い



・駅前の地権者等の意見も大事だが、公共交通を利用して駅に来る人の意見も聞いて、街づくりに活かしてほしい
・障害のある方に直接バリアフリー等の意見を聞いてほしい



・交通結節点として必要な機能の確保と歩行・滞留環境の向上の両方を共存させてほしい
・今後の具体的な検討では、価値観の変化も踏まえて、交通環境を整備してほしい



・三鷹駅北口の多様なポテンシャルをどのように結び付けて次世代につなげていくのが重要
・新技術をいち早く取り入れることも三鷹駅北口の重要性や持続性の向上につながる
・今後は整備した空間をどのように使うか。単なる機能の創出、空間の整備という時代からもう一歩進めることが重要

現状の問題点について



・コロナ禍によって働き方改革が加速し、街の主役である社員が減っており、街全体のにぎわいが低下している
・「桜通りが暗い」との市民意見があったが、これは西側エリアのにぎわいの乏しさによるものと感じている。この問題は駅前ロータリーの整備で改善されるべきである。今後の大手デベロッパーの開発に期待しても良いのではないかと



・歩行者中心の街づくりとして、交通弱者が歩きやすくなるためには、自動車動線との交錯を少なくする取り組みが必要ではないか
・歩行者中心のエリアの周辺部に駐輪場を置く等、自転車や自動車を外側に逃がす仕掛けも大事である



・路上駐車の問題を解決してもらいたい



・駅前の交通島については、もう少し小さくする等、現在駅前広場を利用している人のことを考えて検討してほしい

■ 「考え方1 駅周辺道路の交通体系の再編について」のご意見

意見交換では、交通体系を再編することにより歩行者中心の街づくりを目指していくという共通の理解のもと、今後検証すべき課題として、公共交通優先化した場合の一般車両の動線や、路上駐車による影響、天候による混雑、駐車場・駐輪場の配置等に関するご意見がありました。



・通過交通との交錯が解消されると事故のリスクも減るため「基本的な考え方」の方針を進めてほしい



・天候により、待機・送迎目的の一般車両の利用状況が大きく変わるため、待機場所等を検討してほしい



・中央大通りを公共交通優先化する場合、一般車両は多少は入れるのだろうか



・歩行者優先にするのであれば、駐車場や駐輪場の設置場所を駅前から離す方向の見直しも良いのでは
・コロナ禍後も社会実験を含めたあらゆる検証を行ってほしい



・路上駐車が多い中で、一般車両が通行できる道路が限定され、車道も狭くなると渋滞が発生しにくい懸念される